

不動産のフォワードコミット型取引において、第三者の立場として設計内容や品質・スケジュール等の施工状況を確認し、取引実行のサポートや完成後の運用時におけるリスクヘッジを行います。

□ こまめなリスクヘッジ

竣工時までの正確な工程管理を行うことができるため、リスクを最小限に抑えることができます。

- 工程の見える化
- コストコントロール
- 危機管理の徹底

□ 将来的な不具合等の未然防止

専門的な視点から参画することで、将来起こりうる問題や出てくるであろう課題を事前に把握することができます。

- 仕様性
- 維持管理性
- 施工性
- メンテナンス性

□ 専門知識による情報提供・サポート

効率かつ正確に進めるために各業務および工程に見合った最善の方法を提供します。

- 業務全体の効率化
- 各目線からの多角的な提案
- 正確な情報の付加

